

2016.11

和光市役所

市長 松本 武洋 様

原発といのちを考える会 WAN

会長 鈴木 清雄

要 望 書

拝啓

日頃より住み良い和光市のためご尽力いただき感謝申し上げます。また、学校給食食材測定に際しましては、事前に食材産地をご提供いただくなどご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校給食の放射線測定では、食材の調達にご配慮いただいていることから、市の行っておられる測定でも、私どもの個別の測定でも幸い基準値を超える値は出ていない現状でひととおりの安堵をしております。

そこで、以前から市長は「児童生徒が給食でどのくらいの放射線を摂取したかを科学的に知る為に測定している」とおっしゃっていました。和光市の児童生徒がどのくらい摂取したのかを知りたく情報公開請求しましたが、その様なデータはありませんでした。しかし個々の児童生徒の給食による放射線摂取量は測定の目的でもありますのでデータが無いわけではありません。私ども市民も知りたい情報ですので是非開示していただきたくお願いします。

また、毎月配布される献立表に前月の産地記載がなされていますが、これを当月分の産地記載としていただけないでしょうか。献立の変更があることは充分承知していますが、それでも事前に産地が分かる事が重要ですので何卒よろしくお願いします。

加えて、原発事故後、校庭の放射線を測定し、数校で除染を行ったと存じますが、汚染土壌の埋設についての情報を教師、保護者、児童生徒にどのように伝え、継承しているのか伺います。

私ども原発といのちを考える会 WAN は、2011年福島第一原発事故以来、和光市の市民が原発と事故による放射能の影響について不安な心を寄せ合う場として活動を続けております。不安を抱きながら生活している市民に安心して子どもを学校に送り出せるよう正しい情報をお伝えしたいと存じますのでよろしくお願いします。

記

1. 小中学校児童生徒が学校給食で摂取した放射線量。(年度別、総量)
2. 給食食材産地の事前公開について
3. 校庭の放射線汚染土壌を除染した埋設情報の継承について

以上